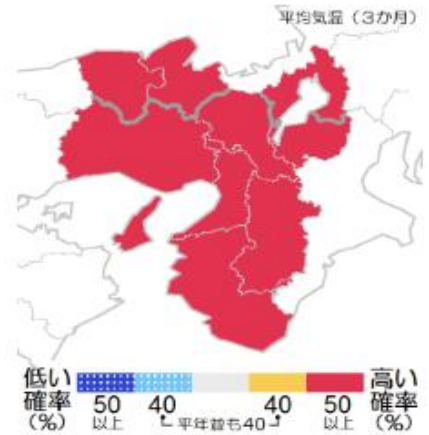


今年の夏も猛暑予報!! 暑熱対策の点検を

今年の夏の予報は？

- ◆気象庁の近畿地方 3か月(7月～9月)の天候の見通しは、期間の前半を中心に暖かい空気に覆われやすいため、気温が高い見込みです。



今年も、人にも牛にも過酷な夏！

- ◆令和7年から、一定の環境下で作業する職場での熱中症対策が義務化されました。飼養管理に携わる人の熱中症対策にも取り組みましょう。
- ◆乳牛の最適温度は4～20℃、肥育牛は10～20℃であり、**限界温度はホルスタインで27℃前後、和牛で32℃**で、それ以上になると乳量や乳成分減少、発育停滞、各種の疾病を併発、繁殖成績が悪化します。



暑熱対策は？

- ◆扇風機で風を送るときは、首から肩にしっかりと風が当たるようにする。
- ◆牛舎周辺の草を刈り、風通しをよくする。
- ◆暑熱ストレス下ではビタミンAの消費量が増える。特に肥育牛では欠乏症に注意する。
- ◆屋根の散水や白く塗るなど、牛舎内の気温を下げる。
- ◆常に新鮮で冷たい水がたっぷり飲めるようにする。
- ◆給餌は涼しい時間帯に、また給与回数を増やして採食量低下に対処する。

熱射病かなと思ったら・・・！

- ◆気温の高い日に口を開けて速い呼吸をし、大量のよだれを流す牛がいたら、熱射病かもしれません。すぐに獣医師に連絡し、下記の応急処置を行いましょう。

- ①日陰や風の通るところで頭部以外の全身に20～30分以上水をかける。
- ②十分に水を飲ませる。
- ③扇風機で風を当てる。



台風、豪雨に備えましょう！

- ◆畜産施設は、損傷や倒壊を防ぐため、事前に点検し、必要に応じて補修等を行う。
- ◆畜産施設への浸水を避けるため、明渠の施工等により排水対策を行う。
- ◆家畜への被害が生じるおそれがある場合は、事前に避難場所を確認し、状況に応じて家畜を避難させる等の適切な処置を行う。
- ◆停電や断水等の対応を確認し、被災時には自家発電機による搾乳や生乳冷却等について、早急に対応できるよう努める。

* 牛の異常や畜産施設に災害があったら直ちに当所まで連絡してください。

京都府南丹家畜保健衛生所

南丹市八木町木原北東庄18 TEL:0771-42-3308 FAX:0771-42-5117